

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム  
派遣先機関等利用マニュアル

2011年 10月 31日

派遣者氏名（専門分野）	濱 住 真 有 （日本・東洋美術史）
-------------	--------------------

派遣期間	2011年 7月 20日 ～ 2011年 9月 17日
------	-----------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
台湾（中華民国）	台北市	国立故宮博物院

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

○利用申請に必要な書類・手続き

派遣者の所属講座教授より、受入先担当者へ電子メールで受け入れ依頼をしていただいた。

○リサーチ方法

国立故宮博物院

チケットを購入して入場、見学する（他の見学者と同じ）。再入場したい場合、チケットか手にスタンプ（日付を記したものを）を押してもらおう。持ち込んだパソコンでインターネット（無線ランによる）を利用したい場合は、インフォメーションカウンターでIDとパスワードを取得する。

院内・図書文献館

受付で、利用したい旨伝える（言語は中国語のみ。日本語は通じない。）。日本人の場合、ここでパスポートを預け、ロッカーの鍵と入館カードを受け取る。その際、記名簿に氏名と、ロッカーの鍵および入館カードの番号を記入する。また館内に個人所有の書籍（辞書など）を持ち込みたい場合は、すべての書名を記入する。ロッカーには原則、貴重品、筆記用具、PC以外のすべてを預ける。水筒、ペットボトルに入った水の持ち込みは可。持参した物を食べるときはロッカー室内のベンチを利用できる。同じ建物の1Fにレストランもある。開架図書の閲覧は自由、コピーカードを購入すればセルフコピーもできる。

※館内は冷房がきいていて非常に寒いので、防寒具（羽織るもの）を持参することが望ましい。